

解決したい 課題

刈谷ハイウェイオアシス駐車場のスムーズな利用

R5実証内容

■仮説

刈谷ハイウェイオアシスは施設に近い駐車場が混雑する傾向にあるため、来訪者向けに、事前に駐車場の混雑情報(以下、混雑情報と表記)を発信すれば、空いている(施設から遠い)駐車場へ誘導ができ、円滑な駐車場利用が実現できる

■実施内容

➤ AIカメラを活用した混雑情報の発信

- 刈谷ハイウェイオアシス駐車場内に複数台のカメラを設置し、入出庫する車両をAIで検知し、混雑状況を把握
- 実証期間中は、WEBページや看板にて混雑状況を発信

➤ 混雑情報の発信に伴う効果検証

- 混雑情報の発信有無による渋滞列の変化を検証
- 来訪者アンケートにより手段の有効性/課題及び需要を検証



取組成果

- 混雑情報の発信をしていない時と比べて、発信をすることで、施設に近い駐車場入口の渋滞列が**平均4.4台減少**した

※実施日9:30～17:30において、30分毎に計測した結果を比較

- 混雑情報を参考にした来場者は、**施設から遠い駐車場に停める傾向**が確認できた

- 「混雑情報を参考にした/知っていたら参考にする」との回答は**72.2%**であった



結果考察

- 混雑情報の発信が**空いている(施設から遠い)駐車場への誘導に一定の効果**があり、円滑な駐車場利用を実現できる手段になり得る
- 混雑情報に対する**需要は高い**

実装に向けた課題

- 混雑情報の発信による効果をさらに向上させるためには、**発信の仕方や見せ方、発信をしていることの周知を工夫改善**する必要がある
例：デジタルサイネージの活用、SNSの活用等